

問題【社会】

明治時代の日本の戦争に関して、以下の問いに答えなさい。

- 1894年に東学を信仰する団体を中心とした農民が蜂起したことを何と言いますか。
- ①をきっかけに中国（清）と日本が衝突した戦争を何と言いますか。
- ②の講和条約を何と言いますか。
- ロシアなどが遼東半島を中国に返すように要求してきたことを何と言いますか。
- 政党（民党）の力が強くなったことから、伊藤博文が立ち上げた政党を何と言いますか。

豆知識 雑学コラム

日本の力認めさせた戦争

日本は不平等条約などもあり、欧米列強と比べれば国際的な立場はまだまだ低い状態でした。日本は欧米列強に対して、どのように近代化していく力を認めさせていったのか。日本の力を世界が認め始めた日清戦争からみていきましょう。

日本は欧米列強に対抗するために、朝鮮への影響力を持とうとしていました。しかし、中国も列強の植民地支配のように朝鮮への影響力を強めようとしていました。そのため日朝修好条規によって中国（清）の朝鮮への影響を断とうとします。朝鮮も日本や中国の影響を受けずに外国を排除したい思惑もありました。そしてついに中国と日本は甲午農民戦争を口実に朝鮮に出兵し、これがきっかけとなって両軍は激突します。

中国の兵力は日本の2倍以上ありました。多くの国が中国の勝利を予想する中、戦いは近代化しつつあった日本が優位に進めます。結局、中国の海軍を破ったことで勝敗がつかまりました。戦後の下関条約によって、日本は朝鮮から中国を除くことに成功し、さらには遼東半島や台湾のほか、多額の賠償金なども得ます。一方の中国は日清戦争の敗北と賠償金の負担によって弱体化し、欧米列強から領土の租借（貸すこと）を求められます。

しかし、この下関条約の内容を面白く思わなかったのが、遼東半島を狙っていたロシアでした。ロシアはフランスやドイツとともに、遼東半島を中国に返すよう要求してきます（三国干渉）。日清戦争の直後で戦争できる状態ではない日本は、この要求を受け入れるしかありませんでした。これにより次はロシアに対抗すべく、八幡製鉄所をはじめとする産業の発展や軍備拡大に力を注ぎます。

日清戦争での勝利は列強が日本の国力を認め始めた出来事でした。しかし、同時に列強から警戒される存在にもなっていきます。今回は、日清戦争以上に激戦となった日露戦争をみていきます。

【解答】

① 義経の乱 ② 日清戦争

③ 三國干渉 ④ 遼東半島

⑤ 立憲政友会

⑥ 日清戦争

⑦ 三國干渉

⑧ 遼東半島

⑨ 日清戦争

⑩ 義経の乱